

本庁舎建設検討

説明会を7会場で開催。 ご説明の概要を紹介します

市では3月中、本庁舎の建設検討にかかわる説明会を市内7会場で開催しました。ご説明の概要を含め、寄せられたご提案などを紹介します。

建設候補地

市ではこれまで、建設候補地を絞り込むために市内23カ所を整理し、第1次評価を行いました。

その結果、豊科地域の市街化区域内にある5カ所の建設候補地を選定しました（詳細は広報あづみの3月号参照）。この5カ所の候補地の優劣順位は現在の段階ではありません。

今後は説明会での意見を参考にしながら、具体的な精査（第2次評価）を行い、5月末までに

本庁舎建設候補地と都市計画の整合

最終候補地を決める予定です。

5つの候補地は、豊科都市計画区域の市街化区域内（※）にあります。庁舎を建設するにあたり、特に整合を図る必要がある都市計画は、「用途地域」と、「都市計画道路」です。

用途地域は、用途の混在を防止住みよいまちづくりを進めるために、住居、商業、工業など、市街地の土地利用の大枠を定めたものです。建設候補地のうち、

事情、経済状況などが大きく変化しており、この路線を含め、市内全域の都市計画道路網の見直しを行うための調査に入っています。

本庁舎の建設規模

本庁舎の建設場所が決まれば、その敷地の条件から庁舎の規模を算出することができま

今後のスケジュール

市は現在、5月末の建設場所の決定に向け、市民の利便性、地域振興、経済性、まちづくり、将来性などのさまざまな観点から、候補地の第2次評価作業を進めています。また、この作業

ご提案

説明会では、次のようなご提案をいただきました。今後の検討材料といたします。

- 豊科プールの跡地は多少狭いが、用途変更の手続きが不要であるので、この場所に建設すべきである。
- 豊科近代美術館の敷地に本庁舎を建設すれば、美術館、図書館、交流学习センターの利用面で相乗効果が期待できる。
- 県安曇野庁舎を活用しながら、現在の本庁舎を必要最小限の規模で建て替える方法が良い。
- 豊科総合支所の周辺は、人口密集地で都市機能がある。豊

豊科近代美術館、現在の本庁舎および県安曇野庁舎、豊科総合支所については用途地域の見直しをする必要がありますが、市では、土地利用の状況や将来のまちづくりなどを検討し、市内全域の用途地域について総合的に見直しを行うべく予定です。

科公民館の敷地も合わせれば比較的大い敷地面積を確保できる。

- 東洋紡績がある場所は、東西に走る2本の幹線、南北に走る国道があるほか、豊科駅に近いなど、本庁舎建設場所にふさわしい。
- 敷地面積が狭い候補地が多いので、複数の候補地を連携して活用したり、周辺の用地買収を検討すべきである。

説明会での意見、回答の要旨は市ホームページまたは下記窓口でご覧いただけます。
<http://www.city.azumino.nagano.jp>
本庁舎内建設準備室計画担当
(TEL 71・2000 FAX 71・5000)



建設候補地の地元を対象とした説明会。豊科地域の6会場で開催。左写真は、3月12日の踏入コミュニティーセンター。



3月27日、豊科ふれあいホールで開かれた説明会。179人が来場。



※市街化区域＝都市計画法の都市計画区域の一つで、すでに市街地を形成している区域および今後優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域